

高原滋夫先生の顕彰に係る募金趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

皆様には平素から格別のご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

岡山大学医学部は、明治三年の創設以来、数多くの偉大な先人が在籍され、そのたゆまぬご尽力により、今日の発展が築かれてきたことは論を俟たないところであります。先人の不朽の功績と崇高なる医の精神を次世代に継承し、また本学医学部の誇りとして末永く顕彰する意義は極めて大きいものと考えます。

さて、このたび本学医学部に多大なるご貢献を賜りました名誉教授 高原滋夫先生のご逝去から三十年を迎えるにあたり、その卓越した業績と人徳を末永く称えるべく顕彰胸像を建立することとなりました。

高原滋夫先生は、耳鼻咽喉科学及び人類遺伝学の分野において、国内外より高い評価を受ける数多くの優れた研究成果を発表されました。また、多くの有為な後進を育成されるとともに、地域医療の発展にも多大なご尽力をなさいました。そのご功績とご精神は、先生を直接にはご存じない世代にまで広く恩恵をもたらしております。このたび建立される胸像は、先生の偉大なる業績と崇高な志を後世に伝える象徴として、鹿田キャンパスに恒久的に設置される予定です。先生のご遺志が、未来を担う医療人の胸に深く刻まれ続けることを心より願っております。

つきましては、本趣旨にご賛同いただける皆様に格別のご支援を賜りたく、ここに謹んで寄付のお願いを申し上げます。何卒、顕彰の意義をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

謹白

令和七年八月吉日

岡山大学医学部長・鶴翔会（岡山医学同窓会）会長

岡山大学医学部顕彰事業検討委員会

委員長

和田 淳

副委員長

成瀬 恵治

副委員長

前田 嘉信

委員

神田 秀幸

委員

豊岡 伸一

委員

中山 雅敬

委員

安藤 瑞生